

清作の妻 (1965)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 93分

初公開日 1965/06/25

公開情報 大映

【解説】

吉田絃二郎の同名小説を、新藤兼人が脚色、増村保造が監督した。村田実のサイレント版（1924年）に続いて、2回目の映画化。戦争を背景とした差別や偏見の中で、たくましく生きていくヒロインの姿を描く。一家の生計を支えるため、お兼は老人の妾となっていた。老人は大金を残し他界。お兼は家族の待つ村へ戻るが、村人たちの目は冷たい。村の模範青年である清作と出会い、二人は周囲の反対を無視して結婚した。しかし日露戦争が勃発し、清作のもとに召集令状が届く。

【クレジット】

監督 増村保造

製作 永田雅一 [製作]

企画 伊藤武郎

原作 吉田絃二郎

脚本 新藤兼人

撮影 秋野友宏

美術 下河原友雄

編集 中静達治

音楽 山内正

出演 若尾文子

田村高廣 Takahiro Tamura

成田三樹夫

紺野ユカ

殿山泰司

早川雄三

千葉信男

穂高のり子

星川黎子

仲村隆

杉田康

潮万太郎

清川玉枝

佐々木孝丸

高村栄一

星ひかる

小山内淳
飛田喜佐夫
井上大吾
松村若代
川澄節子
町田博子
小沢昭一